

## 発掘調査からみた中世の海城 ～広島県大崎上島町の葛城跡発掘調査から～

尾崎光伸

(公財) 広島県教育事業団

埋蔵文化財調査室

### 1 海城とは

海を臨む城については、「水軍城」や「海賊城」などの呼び方がありますが、本講座では「海城」という呼び方を用いました。これらの用語の意味することを考えながら、海を臨む城である葛城跡の概要をみていきましょう。

水軍城…

海賊城…

海城……

### 2 大崎上島の歴史

#### (1) 原始・古代の遺跡

島の北側を中心に、縄文・弥生・古墳の各時代の遺跡あり

#### (2) 中世の遺跡

大崎東荘（旧東野町）で 5 か所、大崎中荘（旧大崎町）で 5 か所・大崎西荘（旧木江町）2 か所の城跡あり

#### (3) 中世の文献資料

○大崎荘は、13世紀半ば頃までは摂関家である近衛家領莊園

○15世紀初頭には、大崎中荘・大崎東荘は沼田小早川家惣領家の領有

○1411（応永 18）年、「大崎西庄内兼行名上下」と「大崎実親名」を、竹原小早川家の惣領である義春が次男徳平に所領譲与

○御串山八幡宮には「当地頭殿土倉殿平冬平」と記された 1426（応永 33）年の棟札

○大崎西荘は実質的には沼田小早川氏の庶子家の土倉氏の勢力下

### 3 葛城跡の発掘調査

#### (1) 検出した遺構からわかったこと

○単郭（東西約 15～20m、南北約 52m、面積約 922 m<sup>2</sup>）で背後に堀切をもつ城

○石垣…東側に古式の石垣

○東側に虎口か？

- SX 1 (南側土坑) … 焼礫・炭化物層
- SX 1 (北側土坑) … 多量の土師質土器皿と、中国製青磁・備前焼・亀山焼などの小破片、壁土・鉄滓・釘などが出土
- SX 2 … 挖立柱建物跡と炉?  
土師質土器皿・中国製青磁・中国製天目碗・備前焼・亀山焼・壁土・鉄滓・釘・碁石・砥石などが少量出土
- SX 3 … 井戸か?

(2) 出土した遺物からわかったこと

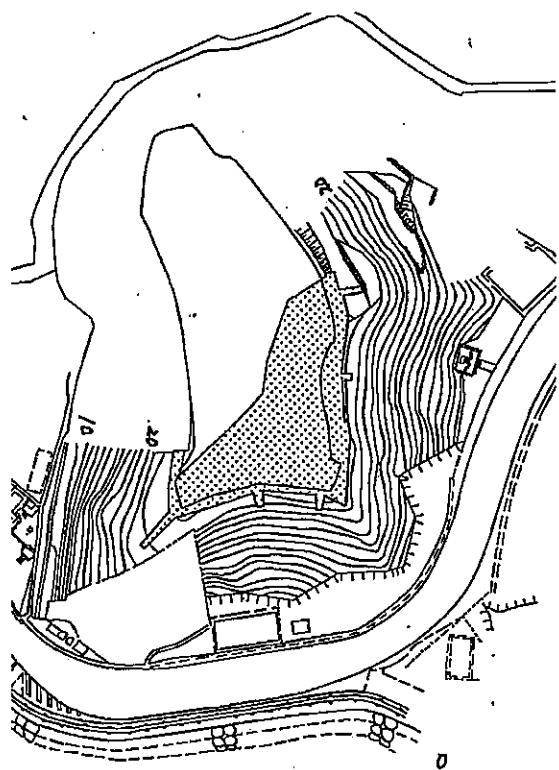
- SX 1 から出土した多量の土師質土器
  - A類…備後南部に分布
  - B類…備後南部?
  - C類…?
  - D I類…?
  - D II類…東広島市・広島市・廿日市市に分布
  - E類…?
- SX 2 から出土した少量の土師質土器
- 武具は出土していない

#### 4 まとめ

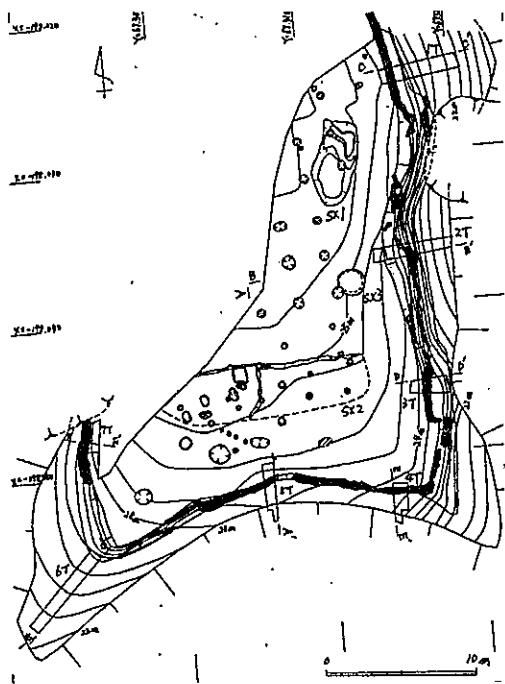
- (1) 15世紀前葉から中葉の大崎上島周辺の様相
  - ◇「下島」(現在の大崎下島)をめぐる争い
  - ◇沼田小早川家内の相続争い
  - ◇瀬戸内海の勢力争い
- (2) 広島県内の発掘調査事例
  - 高崎城跡(竹原市)・丸山城跡(尾道市向島町)  
…短期間使用(15世紀後半～16世紀初頭)
  - 俵崎城跡(尾道市瀬戸田町)  
…長期間使用(14世紀後半～16世紀代)
- (3) 葛城跡の特徴
  - ◇短期間使用された城
  - ◇東側の港と密接な関連
  - ◇出土遺物からみると軍事的な色彩が薄い?



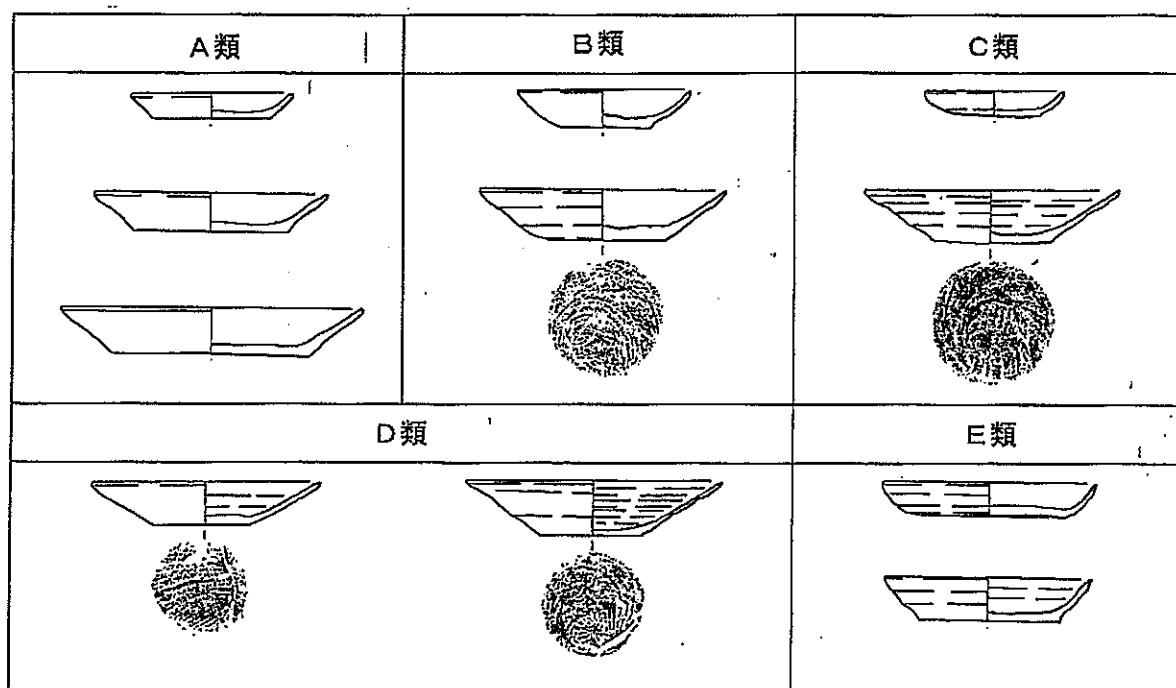
第1図 葛城跡位置図



第2図 葛城跡周辺地形図 (1:1,000)



第3図 葛城跡遺構配置図 (1:600)



第4図 SX1出土土師質土器皿分類図 (1 : 4)



第5図 SX2出土土師質土器皿 (1 : 3)

メモ